

全国国立大学附属学校PTA連合会

平成28年度PTA連合会総会

日時 平成28年6月4日（土）

場所 お茶の水女子大学

出席 鈴木賢史 富岡正機

内容

（1）セミナー

① 子どもの貧困問題について

1. 現状と今後の課題 東京学芸大学教授 松田恵示先生

2. 附属学校PTA連合会の取り組みと今後の展望

全附P連専門委員会

② 財政教育プログラム

財務省・全附P連総務委員会

③ 附属学校に期待すること

文科省 柳沢好治室長

（2）総会

① 平成27年度事業報告、決算報告

② 平成28年度理事役員選出、基本方針、予算の承認

また、合わせて中附P連 第1回理事会が開催されました。

場所 同所

内容 理事自己紹介、27年度決算報告、規約改正に向けての意見交換

中附P連 山口大会の案内

11月4日（金）～5日（土）

講演 ①岡野雅行氏（サッカー） ②小池龍之介氏（僧侶）

内容について

◇子どもの貧困問題

全国の附属学校へのアンケートから、附属学校でも貧困の問題はある。情報が入りにくく、問題把握が難しいが、今後ますます大きな問題となる。

経済と学力には相関関係がある。（裕福な家で勉強時間が短い子どもの方が、貧しい家庭で勉強時間が長い子どもよりも学力が高い、など）

様々なセイフティネット（奨学金や福祉制度）以外にもできることがないか。

経済だけでなく、様々な資本（人のつながり、人的ネットワークの多様性）を教育によって補うことができる。子どもを社会全体の子どもととらえ、教育によって、よりよい社会

づくりを目指す。

附属の役割は、学校を中心としたネットワークの仕組みづくり

教職員、学生、OB同窓会のネットワークにより、教育環境を整える支援や貢献を考える

◇財政教育プログラム

財務省との連携により実施。全国の小中高校を対象に、国家財政の仕組みと現状を学ぶことを通して、様々なものの見方を養う。非常に高評価。ぜひ利用していただきたい。

◇附属学校に期待すること

公立がたくさんあり、特色ある私立がある中で、なぜ国立が必要なのか、ますます存在意義が問われるようになる。

OBの人的ネットワーク、教育への熱い思いを軸に、学校と保護者をつなぐ柔軟なパイプ役を担ってほしい。様々な学校支援にPTAの力、知識経験を活用してほしい。

例えば、職場訪問などを通して社会体験の場を提供するなど。

今後の新たな学校教育課題に対する先進モデルに。時代を先取りする学校として、実社会とのつながりを強化する先導役となってほしい。

◇PTA活動表彰

27年度の活動に対して単位PTA表彰を受けました。各地区で1校のようで、表彰状を受け取りました。

◇中附P連

山口大会が湯田温泉で開催されます。多くのメンバーで参加したいと思いますので、参加可能な方はよろしくお願いします。